

建設廃棄物の発生抑制や再利用は緊急課題

資源の有効利用への助言などを実施

地球温暖化問題とごみ問題がわれわれの社会で深刻さを増しており、問題の解決に向けたさまざまな取り組みが実践されています。平成十二年に「循環型社会形成推進基本法」が公布

され、同時に「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」が制定されました。これは近年、廃棄物の発生量が増大し、廃棄物の最終処分場のひっ迫および廃棄物の不適正処理等、廃棄物処理をめぐる問題が深刻化してきたことに起因しています。

建設工事にともなう廃棄される建設廃棄物(コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材)は、産業廃棄物全体の排出量の約二割、最終処分量の約二割を占めます。不法投棄量の約七割を占める建設廃棄物の発生抑制や、リサイクルの促進は緊急の課題です。

平成十七年度の建設廃棄物の排出量は、全国で七千七百万トンであり、再資源化等率は九二・二%、平成七年度の五八%と比較すると大幅に向上しています。しかし、品目別に見ると、建設発生木材、建設混合廃棄物および建設汚泥の再資源化等率は、他に比べて低くとどまっており、これまで以上の取り組みが必要です。

さらに、昭和四十年代の建築物が更新期を迎え、今後建設廃棄物の排出量の増大が予測されます。この解決策として、資源の有効な利用を確保する観点から、

身近にある
環保協の
技術

10 土木建築材料試験



アスファルト・コンクリート塊・コンクリート塊などを分析する当会の機器

また、身近なところでは、広島県の「リサイクル製品登録制度」や広島市の「建設工事にリサイクル推進に関する要綱・指針」に関連する試験なども行っています。お気軽にご相談ください。(材料試験室 久保隆)

これらの廃棄物について再資源化を行い、再利用していくことが大切です。材料試験室では、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊および建設発生土など資源を有効利用するための基礎的試験や、アドバイスを提供しています。



米国食品衛生調査団に参加して (中)

ニューヨークのホテルを朝6時に

認証検査課 石崎誠司

る。この工場ではモツアレラチーズ

で入手できる。昨年の北京オリンピックや

ミルウォーキー

乳製品メーカーのHACCPを初見学

在郷軍人病の原因水に出会う アトランタ

大統領選挙の際には、職員を派遣して情報収集にあたり、パイオテロなどに備えていたことである。

続いて、エボラ出血熱やHIV、コレラなど



マディソンのチーズ工場での研修風景 (筆者撮影)

の感染経路地図などの展示物を見た。特に驚いたのは、レジオネラ菌による在郷軍人病の発生原因となったホテルの冷却水(原因物質)が展示してあったことである。学生時代に在郷軍人病について勉強したが、まさか原因物質の実物が見られるとは思わなかった。

CDC訪問後、アトランタからミルウォーキーのマディソンに移動し、大手乳製品メーカーであるForemost社のHACCP体制を視察した。同社は、イリノイ州やオハイオ州など7つの州の2700の酪農家による協同組合であり、ミルク、チーズ、サワークリーム、バターなどを製造してい

る。この工場ではモツアレラチーズを製造しており、そのCCP(重要管理点)は抗生物質の残留 殺菌条件 発酵に使う菌の熱処理の、3点である。また、リステリア菌については、高温殺菌後の交叉汚染に注意を払っていることである。予防として、洗浄プログラムの実施、器具の識別、モニタリング検査の実施、貯蔵エリアの温度管理、トレーラーの状態やその保冷

庫の温度管理を重点的に実施している。普段、

乳製品メーカーのHACCP体制を見る機会が無いので、非常に勉強になった。なお、この施設も既にFood-Defenseに取り組みしており、

封印シール 従業員の雇用時における生活背景の調査 運送会社からトレーラー運転手の生活背景資料の入手、などで防御体制をとっていることであるが、私は原料乳生産農家の管理が最も重要なポイントであると考えている。見学を終えて、マディソンからシカゴに移動するバスの窓から見える風景は、延々と続くトウモロコシ畑と牧草地、幾筋もの飛行機雲であった。(下編に続く)

* HACCPとは：原料の入荷から製造・出荷までのすべての工程において、あらかじめ危害を予測し、その危害を防止するための重要管理点(CCP)を特定して、そのポイントを継続的に監視・記録(モニタリング)し、異常が認められたらすぐに対策を取り解決するので、不良製品の出荷を未然に防ぐことができるシステムである。

検査受付窓口日記

⑥ 身近な農業

入れ・虫や雑草の駆除のためなど多種多様な農業があります。この農業については、冷凍餃子への混入事件のあと一時期食品への問い合わせを多く受けましたが、通常は使用されている井戸水についての相談が大半を占めます。ただし、この農業検査は大変難物で、検

にお願いしているのは、使用された農薬の商品裏に記載されている成分表の確認です。それをもとに検査項目の選定を進めていきますが、残念ながら当会において検査が

お客様のお手伝いを指して

少しの配慮で防げます!



材料試験室・東部支所の窓口担当者で連載したコラムは今回で最終

今日も一本の電話から井戸水に含まれる農薬についての相談が始まりました。私たちの身の回りには、菜園や庭木の手入れ・虫や雑草の駆除のためなど多種多様な農業があります。この農業については、冷凍餃子への混入事件のあと一時期食品への問い合わせを多く受けましたが、通常は使用されている井戸水についての相談が大半を占めます。ただし、この農業検査は大変難物で、検

査料金が高額なうえに、種類も多いため検査項目の選定が大変難しく、なかなか問題解決に役立っていません。そこで、的確な検査を行うためにいつも相談者

できない農薬の成分もありません。ただ、このような農薬のトラブルによる検査の問い合わせや依頼は、正しい使用方法でかなり減らすことができます。「大丈夫だと思っただけ」でも使用時には再度使用方法を確認しましょう。さて、本部・材料試験室・東部支所の窓口担当者で連載したコラム

アスベスト分析 (当会では6種類の分析が可能になりました)

「健康被害拡大で無警戒の石綿を対象とした法律の見直し」

平成20年2月に厚生労働省からアスベスト6種類分析の徹底に関する通達が出されました。これにより、アスベスト分析においては、従来の3種類{アモサイト、クリソタイル、クロソドライト}に新たに3種類{アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト}を加えた6種類の分析が必要になります。

※ご要望により試料採取の対応を行います。詳細は、お気軽にお問い合わせください。



問い合わせ：財団法人広島県環境保健協会 企画開発センター 業務開発課 電話：082-293-0163 (ダイヤル) FAX：082-293-8915